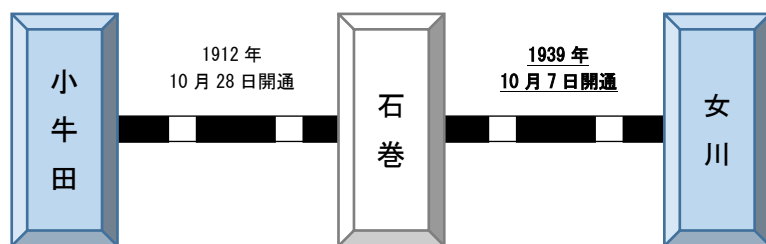


2019 年 7 月 25 日
JR東日本 仙台支社

おかげさまで「石巻線 小牛田～女川間」は 全線開通 80 周年を迎えます

JR東日本では、「石巻線 小牛田～女川間」が、2019 年 10 月 7 日に全線開通 80 周年を迎えます。これに合わせて、お客さまに感謝の気持ちを込めて、第一弾の取組みとして「ラッピングトレインの運転」と「記念のスタンプラリー」を実施いたします。

◆石巻線は、仙北軽便鉄道として 1912 年（大正元年）に小牛田－石巻間が開業、1939 年（昭和 14 年）10 月 7 日に石巻－女川間が開業し、全線開通となりました。



1 石巻線全線開通 80 周年ラッピングトレイン

全線開通 80 周年よりも一足早く、8 月 3 日から宮城県の牡鹿半島や石巻市街地等で「アート」「音楽」「食」を楽しむことのできる「Reborn-Art Festival 2019」が開催されます。多くのお客さまが石巻エリアにお越しになる開催期間に合わせて、ラッピングトレインを運転いたします。

- (1) 運 転 日 2019 年 8 月 3 日（土）～2020 年 3 月 31 日（火）（予定）
- (2) 対象列車 キハ 110 系 2 両編成
- (3) 運転区間 石巻線 小牛田～石巻～女川
- (4) 運転時刻 往路：小牛田発 9:27～石巻発 10:36～女川着 11:01
 復路：女川発 11:09～石巻発 11:53～小牛田着 12:30

※列車は 2 両編成を基本としますが、切り離して他の車両と連結する場合があります。

※上記以外の運転区間・時刻でも運転いたします。

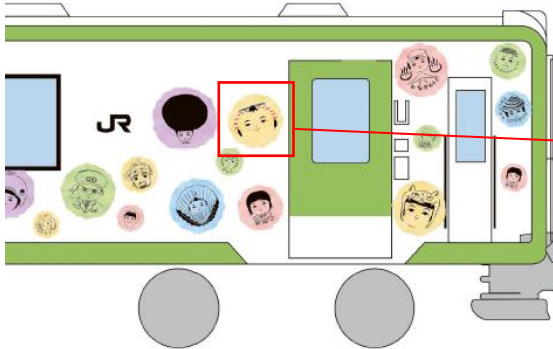
(5) 装飾イメージ

① 車体装飾

[全体]



[拡大]



[キャラクター拡大]



② 車内装飾

車内ポスターのスペースを活用して、車体に装飾したキャラクターについて紹介します。



(6) デザインコンセプト

石巻線全線開通 80 周年を祝して、「石巻こけし」をモチーフに、石巻沿線で働く人の顔や観光、特産品をデザイン化しました。

※「石巻こけし」とは、こけし作家の林貴俊さんが作るオリジナルこけしです。青色のラインと赤色の魚模様からなる「フィッシュボーダー」というデザインをあしらったスタンダードなこけしのほか、様々な色や形、モチーフを取り入れたこけしがあります。

※車両に表現されているキャラクターの詳細は別紙をご参照ください。



(参考) 石巻こけし

(参考) デザイナー こけし作家 林貴俊 氏

石巻駅近くの商店街にある「林屋呉服店」3代目。東日本大震災で被害を受けた石巻を元気にするような新しい物を作りたいという想いからこけし作りをスタートし、2015年3月11日から工房兼店舗として「Tree Tree Ishinomaki」(林屋呉服店内)をオープン。

(参考)「Reborn-Art Festival2019」とは

東日本大震災からの復興を「Reborn」と表現し、被災地を盛り上げようと企画された「アート」「音楽」「食」をテーマとするイベントです。牡鹿半島と石巻中心市街地に国内外の現代アーティストの作品が展示されるほか、地域やアートと融合した音楽イベントが開催されます。また、宮城県内外の精鋭の料理人たちが手掛けた地元の食を体験できます。

第二回の開催となる2019年は、「いのちのてざわり」というテーマのもと、約60組のアーティストたちが作品を展開するほか、食や音楽の企画とともに地域振興を図ります。

[概要]

日程・期間	2019年8月3日(土)～9月29日(日)
場 所	牡鹿半島、網地島、石巻市街地、松島湾(宮城県石巻市、塩竈市、東松島市、松島町、女川町)
主 催	Reborn-Art Festival 実行委員会、一般社団法人APバンク
共 催	宮城県、石巻市、塩竈市、東松島市、松島町、女川町、株式会社河北新報社 東日本旅客鉄道株式会社 仙台支社、ヤフー株式会社

2 記念スタンプラリー(小牛田⇄石巻⇄女川)

(1) 実施概要

- ① 実施期間 2019年8月3日(土)～2019年11月30日(土)
- ② 参加方法 スタンプ台紙配布箇所(小牛田駅・石巻駅)で台紙を受け取りご参加ください。
- ③ スタンプ設置箇所(計8箇所)
 - ・小牛田駅
 - ・山の神まんじゅう本舗 村上屋：小牛田駅より徒歩約1分
 - ・石巻駅
 - ・石ノ森萬画館：石巻駅より徒歩約12分
 - ・Tree Tree Ishinomaki(林屋呉服店)：石巻駅より徒歩約3分
 - ・石巻 NEWSee：石巻駅より徒歩約10分
 - ・女川水産業体験館あがいんステーション：女川駅より徒歩約5分
 - ・女川温泉ゆぽっぽ：女川駅直結

スタンプラリーの詳細は、8月2日開設予定の特設サイトをご覧ください。

<https://jr-sendai.com/ishinomakiline80th>

- ④ スタンプ・台紙 スタンプ設置箇所にゆかりのあるスタンプを、こけし作家・林貴俊氏がデザインしました。

[スタンプデザイン]



※写真・画像等はイメージです。

[スタンプラリー台紙]



(2) プレゼント概要

3箇所以上のスタンプを集めた方に、石巻線全線開通 80 周年記念ロゴシールとこけし作家・林貴俊氏デザインのキャラクターシールのセットをプレゼントいたします。(限定 800 枚)

プレゼントは、JR 石巻駅および JR 小牛田駅 (9:30～17:00) でお渡しします。

※プレゼントはおひとりさま 1 個とさせていただきます。

※プレゼントがなくなり次第、キャンペーンは終了となります。

※写真・画像等はイメージです。



シールセット

3 第二弾の取組み

10 月 7 日の石巻線全線開通 80 周年にちなんだイベント等の詳細については、改めてお知らせいたします。

■キャラクターの紹介



＜けん玉＞
伝統木地玩具のけん玉を
広めようと主にまちなか
でパフォーマンスを披露
したり、小中学生向けに
ワークショップを開催し
ている若者がいる。モデ
ルの「ゴリ」くんこと小
野寺君も街を盛り上げよ
うと地道に活動している
ひとりだ。



＜自転車＞
サイクリングを通じて石巻
地域の魅力を伝えたい、と
活動する個人団体が増えた
のも震災後の魅力の一つ。
地道に活動している「クマ
ガイサイクル」さんがモデ
ル。



＜キャピターノ＞
石巻観光協会のキャラク
ター。石巻こけしが得意
とする被り物でコラボ。



＜居酒屋のマスター＞
おいしいお米の産地である
石巻エリアは美味しい地酒
の産地でもある。同エリア
は、美味しいお酒や肴を提
供する飲食店が沢山あり、
各店には名物マスターも。
モデルは「ニュー魯曼停」
のアキラさん。



＜水産加工員さん＞
缶詰でも干物でも、特産
品である水産加工品は加
工員さんたちに支えられ
ている。



＜猫かぶり＞
石巻こけしの代表作。猫
の頭巾をかぶったこのシ
リーズは田代島の猫をモ
デルにしています。田代
島は猫島として世界中か
ら観光客が訪ねている。



＜まちなか映画館の支配人＞
映画や演劇などの文化を通
してコミュニティの活性化
を図ろうと、ラジオや街中
で活動している「拓郎」君
がモデル。



＜クジラ＞
かつて鮎川は捕鯨の町と
して賑わっていた。鯨漁
工芸も名産として有名。



＜ホタテとワカメ＞
石巻エリアの名産品、ホ
タテとワカメ。



＜イチゴ＞
宮城県は全国的にも
第10位の出荷量を
誇り、美里町、石巻
市も名産地になっ
ている。



＜石ノ森萬画館＞
中心市街地のランドマ
ーク「石ノ森萬画館」。ま
ちなかを盛り上げようと
奔走している懶まちづく
りまんぼうの刈谷君がモ
デル。



＜牡蠣＞
名産の牡蠣とそれを支え
ている大黒柱の牡蠣剥き
作業員さん。ゴム手に胴
長、L字型牡蠣ナイフで頑
張っている。



＜ほやのマーチを歌う
シンガーソングライター＞
ライブやラジオでお馴
染み。歌を通してみん
なに笑顔を届けている
。ほや好きの石巻観光
大使「尾形萌江」ちゃ
んがモデル。



＜小牛田銘菓＞
「山の神まんじゅう」昔
は駅のホームで番重をし
よって行商していた。こ
ごたまんじゅう最後の一
軒。



＜はまぐりはま＞
贅沢な浜時間を楽しめる
お出かけスポット。渡波
駅から車で15分。海を
眺めながらのんびり過
せませす。カフェはまぐり
堂の亀山さんがモデル。



＜アフロなこけし＞
石巻こけしの代名詞とも
いえるアフロ。幸運のア
フロと等身大アフロを見
つけて写真を撮ろう！



＜お米＞
涌谷はお米の特産地！
美味しいお米を召し上
がれ！モデルは自然食
食堂「さん」のリョウ
スケ君。



＜やろっこ＞
マキセンにはヤンチャな高校
生もたくさん乗っていた。地
元では男子は「やろっこ」と
呼ばれる。男子も女子も昔か
ら通学の大事な足としてマキ
センを利用している。
※マキセン＝石巻線



＜あねこ＞
女子は「あねこ」
浜のあねこはやろっ
こ以上に明るく元氣
がいい。



＜NEWSee＞
「おじいちゃんの前か
ら日日新聞！」のキャ
ッチフレーズでおなじ
み「じじばー」と「ま
ごばー」がモデル。



＜女川駅＞
新しくなったゆぽぽは
羽を広げたカモメの様！
温泉も気持ちイイー



＜まちのコンシェルジュ＞
ISHINOMAKI2.0に所属す
る雁部君がモデル。石巻へ
の移住者を増やそうと日々
奮闘している。住んでもら
おう、知ってもらおう、と
石巻の良いところを発掘し
ている。



＜リボンアートを盛り
上げる「こじか隊」＞
芸術による震災からの復
興を目指すリボンアート
のスタッフは、地元の人
だけじゃなく日本全国
の人で構成されているのが
嬉しい。



＜駅長＞
モデルは石巻駅長。石巻
線が2019年10月で全線
開通80周年を迎えるにあ
たり、地元の皆さまと共
に石巻エリアの観光によ
る震災復興に日々尽力し
ている。



＜キャラクターデザイナー＞
林 貴俊氏
石巻市在住。林屋呉服店
の若旦那で、震災以降、
故郷の盛り上げのためこ
けし工房を立ち上げた。
代表作「石巻こけし」は
全国区の知名度。